

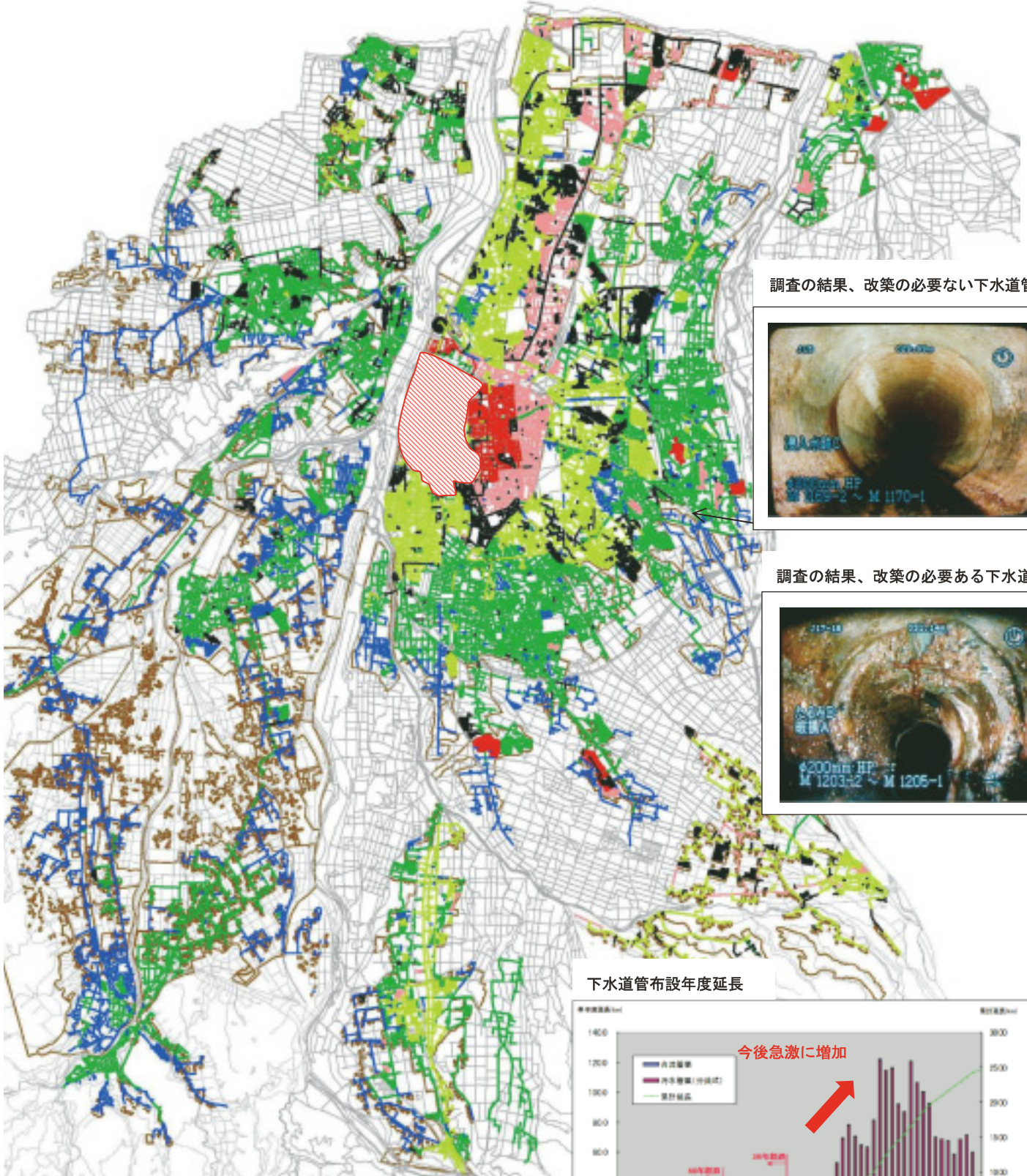
13 老朽下水道管対策事業の推進について

本市の下水道は昭和27年から整備を進めており、今後、急激に老朽下水道管が増加する傾向にあることから、老朽下水道管に起因する事故を未然に防止するために、計画的で効率的な改築を進めていく必要があります。

つきましては、今後、急激に増加する老朽下水道管の改築には多額の経費と期間を要することから、**老朽下水道管の対策事業が計画的、かつ、継続的に図られるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

1. 事業年度	平成22年度から平成31年度 (うち工事期間 平成24年度から平成31年度)
2. 総事業費	約 9,750百万円
3. 事業概要	調査・点検 約250km (30年を経過した分流式下水道管) 改築工事 約62.5km (調査の結果、劣化の著しい下水道管)
4. 平成27年度事業費	
	調査・点検等 約50km 200百万円
	改築工事 約9km 1,216百万円
	計 1,416百万円
	国庫支出金 708百万円
	企業債 547百万円
	自主財源 161百万円

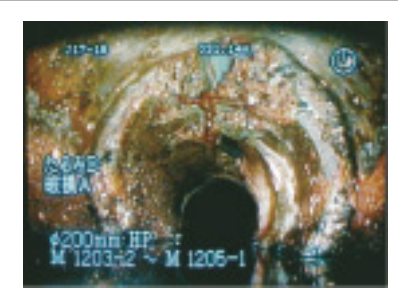
老朽下水道管対策事業位置図



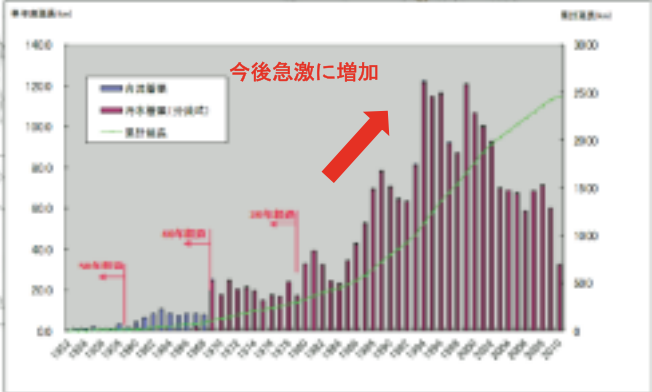
調査の結果、改築の必要ない下水道管



調査の結果、改築の必要ある下水道管



下水道管布設年度延長



凡例	
	～41年経過
	40年～31年経過
	30年～21年経過
	20年～11年経過
	10年～1年経過
	合流式下水道区域

老朽下水道管の
調査・点検・改築

年度別	～51年	52年～61年	62年～71年	72年～81年	82年～91年	92年～11年	10年～1年	合計
延長総量	14.0	64.9	0.5	79.9	1.9	4.0	1.4	97.2
下水道管 (11年度)	0.0	43.9	207.2	291.1	484.0	909.0	607.2	2,305.1
下水道管以外	14.0	101.7	207.7	321.0	485.9	909.0	608.0	2,455.3
埋設割合	14.0	123.3	231.0		796.9	1,700.7	2,425.3	-
埋設割合	0.0%	5.0%	13.5%		32.5%	72.0%	100.0%	-